

平成26年度第6回白井市子ども・子育て会議  
会議摘録

会議名	平成26年度第6回白井市子ども・子育て会議	
日時	平成26年10月16日(月) 午後2時から	
場所	白井市役所委員会室	
出席者氏名	委員	廣澤委員、鳥海委員、金子委員、菅森委員、浅野委員、田村委員、風間委員、新倉委員、駒村委員、星委員、嶋本委員、木村委員、堀井委員、森委員、田中委員
	事務局	健康福祉部 児童家庭課
欠席者氏名	保健福祉センター2階 研修室2	
次第	1. 開会 2. 報告事項 3. 議事 (1) 教育・保育の見込み量と確保方策について (2) 子ども・子育て支援事業計画(案)について (3) スケジュールについて (4) その他 ・保育短時間認定における就労時間の下限設定について ・保育料設定について 4. 閉会	
議事内容	次ページ以降の通り	

## 議 事

### 1. 開会

### 2. 報告事項

### 3. 議事

#### (1) 教育・保育の見込み量と確保方策について

(事務局より説明)

廣澤会長：何か質問等ございましたらお願いいたします。その他ご質問なければ、議題1を終わります。

#### (2) 子ども・子育て支援事業計画（案）について

(事務局より説明)

廣澤会長：計画の大枠の部分で質問がございましたらお願いいたします。

森委員：白井市では乳幼児や小学生の医療費の助成があるものの、所得制限があります。鎌ヶ谷市や印西市では、所得制限はないので、白井市でも撤廃してほしいと思いますが、市として今後の方向性をどのように考えていますか。

事務局：現在通院と入院にわかれており、入院は中学生まで、通院は小学生まで助成しています。所得制限については、今後協議をしていく上で、様々な福祉業務との整合性を踏まえた方向性で検討したいと思います。

森委員：医療費の助成の対象でないことを病院で言いづらいところがあります。不審者も多く心配なところもあります。財政的な面もありますが、少しでも負担軽減をお願いしたいところです。

事務局：今ご意見いただいたので、それを踏まえて検討したいと思います。

森委員：39ページのサービスコーディネーターについては、子ども・子育て支援事業の利用者支援とは、別のものになるのでしょうか。

事務局：サービスコーディネーターは各種サービス利用のコーディネートであります。利用者支援では保護者の悩みごとの相談も含めて行うこととなります。次世代の部分を引き継いで掲載していますが、内容を踏まえて精査をしていきたいと思っております。

廣澤会長：放課後こども総合プランで質問がございましたらお願いいたします。

田村委員：放課後こども総合プランで放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的・連携した実施とありますが、白井市としてどうお考えでしょうか。また、現在大山口小学校では、来年度から週1回小学校1年生に放課後こども総合プランを行います。しかし計画案には学童保育以外と書かれており、放課後こども総合プランの名のもとに放課後子ども教室を実施するのであれば、学童の児童も含めていかなければいけないと思います。また、今後市が進めていく場合、学童保育への理解も含めて、本来の意味をしっかりと伝えてほしいので、来年度から実施する旨の説明があると思います。

新倉委員：あわせてですが、「放課後等にすべての児童を対象とした」という文言がありますが、白井第三小では700人以上児童がいて、40人以上が関わらないと放課後の子どもの安全が確保できない現状があります。そのため、とても良い計画だと思いますが、具体的にどのようなことがビジョンとしてあるのでしょうか。

事務局：現在の状況としては、教育委員会と連携をとった放課後こども教室と学童保育の運営は行われていません。12月21日に担当者の研修会が開催され、そこで、具体化

されてくると思います。まずは、運営委員会を立ち上げて、学校関係者、教育関係者、学童保育関係者等が集まって、子どもの安心が保たれる形で実施ができるかを検討していきます。現在で具体的なビジョンがない状況です。大山口小学校での実施については、試験的なもので、1年生だけの少数での実施になり、帰りは家まで送迎する予定となっていますが、その際の連携や調整が難しいという話がでています。今後は、全学年を対象として拡大していくように、連携をとって進められるよう意見をしていく予定です。市としては、保育が必要な子、活動が必要な子で垣根を設けるのではなく、最終的には全ての児童を対象とした放課後子ども総合プランの実施が可能か検討していきます。

田村委員：国の方では一体的に進めていくと言われており、「一体的な」と表現について指導員は別々のものにはならないのでしょうか。

事務局：学童保育と放課後子ども教室は別のものにとらえていますので、一緒くたにするのではなく、両方を実施することにより、放課後の場を希望する児童すべて受け入れることが可能かどうかを放課後子ども総合プランで考えていきたいと思っています。

田村委員：我孫子市では学童保育と放課後子ども教室を指導員が兼務しており、かなり現場の負担が大きい状況があります。また、大阪の方では、放課後子ども教室に人が集まらず、学童保育に児童がほしいと要望していることがあり、学童保育の性格自体が変わりかねない状況があるので、白井市では、そうならないように話し合っていたきたいです。

廣澤会長：その他質問がございましたらお願いいたします。

駒村委員：以前、工業団地の中の通学路で学童が車に巻き込まれて亡くなり、現在大型車が通行止めになっています。大型車が通行できる道路が一本しかなく、通行止めの解除を市や警察に申請していますが、安全が確保されないと解除できないと言われていいます。これについて、過去に工業団地内で事故で亡くなっている人がどれぐらいいるか、またはその事故の経緯を調べてもらえないかと申し上げてから、回答がないが、過去の事例を調べて報告していただければと思います。都市計画を見直す際に安全の確保について、市民の目線や工業団地の目線で考えてほしいと思います。

事務局：計画の中でも子どもの安全の確保については重要であると考えています。回答がないことについては、担当課に確認して回答させていただきたいと思っています。公園の遊具の安全性についても大事なところですので、確認させていただきます。

森委員：40ページの房総アドベンチャーとはどのようなもののでしょうか。

事務局：房総アドベンチャーは、家庭を離れ、自然の中で自ら生活する事業です。計画全体を通して、一見ではわかりづらい文言がありますので、注釈等をいれさせていただきます。

森委員：46ページの部活サポーターも一見でわかりませんが、こういうものがあるのでしょうか。

事務局：教育委員会と調整して文言を精査させていただきます。

廣澤会長：その他ご質問なければ、議題2を終わります。

### (3) スケジュールについて

(事務局より説明)

廣澤会長：ご質問なければ、議題3を終わります。

#### (4) その他

(事務局より保育料についての説明)

廣澤会長：何か質問等ございましたらお願いいたします。

風間委員：一点目として、保育料にはどこまで含まれていますか。二点目として、実際の保育料の全国平均と白井市では差がどれくらいあるのでしょうか。市がどこまで考えているのでしょうか。

事務局：一点目につきましては、細かい部分がございますので、別途お知らせいたします。また、二点目については、把握していない部分もありますので、今のご意見を参考に今後説明させていただきます。

風間委員：国の考えも変わってくるところだと思えますが、白井市と船橋市では同じように就園奨励費を出しており、船橋市では単独で年4万補助金を出しています。そういったところで、近隣市町村と保護者負担額に差がないようにしていただければと思います。幼稚園に比べて保育園には市税が投入されているので、同じように投入してほしいと思います。

事務局：確かに保育園利用者の方に恩恵が偏りがちなのは感じています。国の決めたところに沿っている部分もあるので、難しいところもありますが、幼稚園利用者と保育園利用者で格差が生じないようにしていきたいと思います。

廣澤会長：計画の大枠の部分で質問がございましたらお願いいたします。

森委員：白井市では乳幼児や小学生の医療費の助成があるが、所得制限があります。鎌ヶ谷市や印西市では、所得制限はないので、白井市でも撤廃してほしいと思いますが、市として今後の方向性をどのように考えていますか。

(事務局より保育短時間認定における就労時間の下限設定についての説明)

廣澤会長：特に質問等ありませんので、その他ご意見等ございましたらお願いいたします。

駒村委員：市の財政が厳しいのはよくわかります。市が豊かになるれば医療も教育も無料にすることができると思います。市を豊かにするためにどうしたらいいかをみなさんにも考えていただいたらよいと思います。市もそこに積極的に取り組んでいただきたいと思います。

事務局：現在、財政の部署で検討しているところであります。施策を打っていかなければ、若い世帯も入ってこないです。総合計画を作成する際にも検討しているところですが、ご意見を踏まえて考えていきたいと思えます。

駒村委員：白井市は他市に比べて国道16号線を活用していないのではないのでしょうか。国道16号の沿線200～300mの範囲の市街地調整区域や農地については、転用すると活性化するのではないのでしょうか。とにかく財政を増やすことを考えて、都市計画などを踏まえて取り組んでいきたいと思えます。

事務局：白井市も財政的に危ぶまれている状況もありますので、庁内の財政、企画と調整して検討していきたいと思えます。

#### 4. 閉会

事務局：次回の会議は、12月を予定しています。作業の進捗をみてご案内させていただきます。

(終了)